

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

507-81

事務事業名	防火防犯委員会助成事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	危機管理部	課等名	防災交通課		包含する細々目	1	2	1	5	12	4	4,747
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり											
施策	43 地域安全の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等						
		事業期間	年度～	年度								

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	市民及び各地区まちづくり委員会等防火防犯部門担当者	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			107844	107000			
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)					
各 地区 まち づく り委 員会 等防 火防 犯部 門の 活動 を通 して 防火 及び 地域 安全 (防犯) 意識 の高 揚を 図る こと で、 各 地区 の地 域安 全の 向上 をね らい とし る。	犯罪発生数	18目標				最終目標	
		18実績 990					19目標
		23目標 1050				23実績	最終目標 達成年度
		18目標				最終目標	
		18実績				19目標	
		23目標				23実績	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値	
	飯田市防火防犯委員会が解散したことにより、各地区まちづくり委員会等の防火防犯部門の活動に対して公的な助成を行うことにより、地域の防火防犯活動を活性化させるものである。	18年度の実績	防犯灯維持管理事業(地区委員会毎に管理) 地域安全(防犯)対策事業(防犯パトロール・防犯診断活動・街頭啓発活動) 防火対策事業(防火広報・消防団への協力・火災現場での消防活動支援) 市民及び防火防犯委員に対する教育啓発の実施 活動用装備品等の整備充実事業(パトロール時や夜間活動の装備品の整備充実)	防犯灯・灯数 防犯パトロール等・回数 防火広報等・回数 教育啓発・回数 執行額・円	5944 60 14 2 715071
		19年度計画	まちづくり委員会等防火防犯部門が主体となって活動 防犯灯維持管理事業(地区委員会等毎に管理) 地域安全(防犯)対策事業(防犯パトロール・防犯診断活動・街頭啓発活動) 防火対策事業(防火広報・消防団への協力・火災現場での消防活動支援) 市民へ防火防犯に対する教育啓発の実施 活動用装備品等の整備充実事業(パトロール時や夜間活動の装備品の整備充実)	防犯灯・灯数 防犯パトロール等・回数 防火広報等・回数 教育啓発・回数 執行額・円	5944 60 14 2 715000

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	4,665	4,747
	事業費計(A)	4,665	4,747
人件費	正規職員所要時間	18年度 360	19年度 360
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	1,287	1,287
	トータルコストA+B	5,952	6,034

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	地域安全の確保(犯罪の抑止及び出火率の低減)	出火件数の抑止	現状値	40	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
	街頭犯罪等認知件数の抑止	街頭犯罪等認知件数の抑止	現状値	735	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
飯田大火等をきっかけにした市民の防火意識の高まりにより昭和21年に発足した飯田市防火委員会がその後防犯活動を取り込むことにより現在の防火防犯委員会が昭和31年に誕生している。発足の経緯や公益性に鑑み飯田市が負担金方式での財政的な支援や事務局の庁内設置等を行っている。	防火を主体とした組織として発足しているものの、昨今の治安情勢悪化に伴い地域安全(防犯)活動にその比重が移行しており市民の期待も高まりつつある。また、平成19年度地域自治組織発足により、飯田市防火防犯委員会は解散するため、地域自治組織内に編成されるまちづくり委員会等の防火防犯担当部に、各地区ごとに主だった活動が引き継がれていく。	交通安全や自主防災組織など地域安全を担う類似組織との統合の要望が強く、平成19年度発足各地区まちづくり委員会等の中で、ひとつの組織として活動をおこなうこととなるが、市民の防火防犯の活動に対する理解は高く、常に積極的な活動を求められている。

【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) 統合可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	地域自治組織発足後の防火防犯活動内容を年度ごとに検討し、類似活動組織と協議し、統合すべき活動や強化する活動について改善していく。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	地域自治組織に対する市民の意見、要望を的確に捉え、その内容に沿った活動をおこなう。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	